

村田
保譯

英國刑律摘要

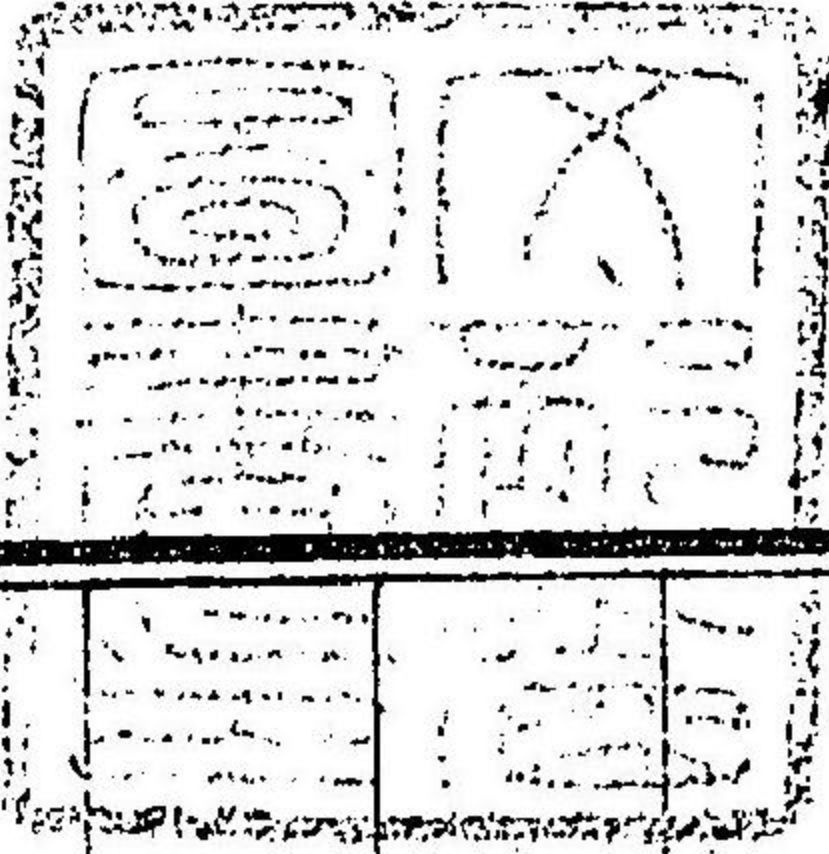
中

CG
711
01

館書圖京東	
函四一	門新
架四	部一一
號二〇九	類

共
三
本

CG
711
01



英國刑律摘要目錄

七十五條

明治八年文部省交付

擅殺重犯

拒殺強姦

殺人全已

誤殺人

父師殺子弟子

戲殺人

防身殺人

親屬相為防救

犯自殺

謀殺人誤殺其身

瘋癲人犯自殺

犯自殺者處刑

有心鬪毆殺

無心鬪毆殺

鬪毆殺處刑

謀殺人

匪法行事殺人

庸醫殺人

保辜限內

殺外國人及法外人

馬脚銃砲殺人

共謀毆人致死

拒殺捕吏

毆殺傍人為和解者

誤毒殺人

罪按成後事發不得作再案

殺父母夫家長

謀殺人罪狀明白者

謀癘篤疾人

傷殘人

火藥燬傷人

置火藥于人房屋及船隻

凶藥迷死人

見破船不援

孕婦自墮胎

畧誘女

強姦婦女

姦幼女

鷄姦及獸姦

畧誘幼孩

棄去赤子

向鐵路投木石

設置機發弓銃

故毆人

放火故燒人房屋

夜破入人房屋

夜扣人門戶犯盜

聚眾守防其家

夜持兇器塗面色在人家屋內

破入宮社寺院等

白晝破入人房屋倉庫店舍等

借居人盜假借品器

詐取寄託財物

竊盜未全持去

奴婢那移家長穀物

竊盜處刑

盜馬牛羊豚

盜製造場器物

盜船內物品

強盜

恐誣人強奪財物証書

奴婢盜家長財物

那移出納家長財物

私用人囑託物

郵便吏役披封書

盜人封書

受盜贓

損害製造場物器

發火藥損害人

損害假借物

損害樹木

損害礦山及器械

損害馬牛羊豚

損害堤塘橋梁船隻

損害官私物類

英國刑律摘要卷二

村田保譯

擅殺重犯

凡謀殺強盜若クハ夜中人ノ房屋ヲ破壞セント
 スル者ヲ事主或ハ奴僕擅シテ之ヲ殺シ及ヒ他人
 ノ偶然ト其場ニ在リ傍ヨリ事主ヲ救護シテ之
 ヲ殺ス者ハ並ニ其罪ヲ論セス
 其強逼及ヒ兇惡ヲ為スニ非スシテ輒ク殺ス者
 ハ其罪ヲ免サス假令ハ人ノ衣服内ノ金銀ヲ掏
 摸セントシ或ハ白晝ニ人ノ房屋ヲ破ラントス

ル者ヲ殺セハ仍^ホ其殺罪ニ坐ス

拒殺強姦

允強姦ヲ以テ人ニ逼迫セラレ婦女拒防シテ之

ヲ殺ス者若クハ親夫其女妻ノ強姦セ^レント

スルヲ見テ殺ス者ハ並ニ其罪ヲ免ルス

其婦女ノ和姦ナルヲ知テ殺ス者ハ免サス

若シ鷄姦ヲ以テ強逼セラレ拒防シテ之ヲ殺ス

者モ亦其罪ヲ免ルス

殺人全已

允人ヲ殺スニアラサレハ自己ノ生命ヲ須臾モ

保全スルヲ能ハサルニ因テ死ニ致ス者ハ其罪

ニ坐スルヲ得ス假令ハ二人共ニ同船ニ乘リ

惡風ニ遇ヒ其船隻破壊シテ一片ノ舩板ヲ得テ

之ニ同ク其身ヲ止留スト雖^レ此時ニ於テ若シ

其一人ヲ棄放スルニ非レハ自己ノ生命ヲ須臾

モ救フヲ能ハサルヲ圖リ依テ其一人ヲ水中ニ

突放スル者ノ如キヲ謂フ

誤殺人

允法ニ於テ為スヘキ事ヲ為シ及ヒ實ニ思慮ノ

及ハサル所ニシテ人ヲ誤殺スル者ハ並ニ其罪

ヲ免ルルス假令ハ斧ヲ把テ薪木ヲ拆クニ其斧頭
飛脱シテ傍人ヲ殺シ或ハ標的ニ向テ弓銃ヲ發
ツニ突然ト人アリ其道ニ出テ依テ殺ス者ノ類
ヲ謂フ

父師殺子弟子

允父師ノ子弟子ヲ教導スルニ依テ之ヲ毆笞シ
或ハ法官ノ罪犯ヲ決罰スル等法ニ依リ事ヲ行
フテ因テ死ニ致ス者ハ並ニ誤殺ト為シテ其罪
ヲ免ルルス其毆ツ可カラサル所ヲ笞チ若クハ兇
器ヲ以テ撃チ或ハ過度ニ決罰ヲ加ヘル等非法

ニ事ヲ行フテ因テ死ニ致ス者ハ並ニ毆殺トナ
シ其罪ニ坐ス事情惡ムヘキ者ハ仍ホ謀殺罪ト為
シテ論ス

戲殺人

允戲劇ニ相鬪戰シ及ヒ金刃ヲ振り因テ人ヲ死
ニ致スモノ或ハ人ノ馬ヲ鞭チ其馬驚奔シテ路
人ヲ踏斃スル者ハ並ニ事實過錯ニ出ツルト雖
モ素ト非法ニ事ヲ行ハハ仍ホ毆殺罪ニ坐ス
其馬上ノ人ハ思慮ノ及ハサル所ニアレハ論セ
ス

防身殺人

凡人ニ卒然ト侵撃セラレ其身ヲ防救セン為メ
 ニ之レヲ殺ス者ハ法ニ於テ人ヲ殺シテ其罪ヲ免
 スヘキ者トス是レ止事火急及ヒ暴酷ニ起リ如シ
 捕吏ノ来ルヲ待テハ必ス其身ヲ害セラレシト
 ヲ圖リ殺ス者ノ外ハ其罪ヲ免サス故ニ其殺罪
 ヲ免スニハ必ス其人思慮外ニナク又避逃スル
 一ヲ得スシテ殺ス一ヲ明カニスヘシ
 其卒然ト二人相鬪毆シ其一人事切迫ニ非ラス
 シテ之レヲ毆殺スル者ハ鬪毆殺ヲ以テ論ス如シ

人ヲ殺シテ其罪ヲ免スヘキ者トス

人ノ侵撃スルト雖共ニ爭フ一ヲ欲セス嫌避
 セントスルヲ逼勒シ止ム一ヲ得スシテ殺ス者
 ヲ防身殺ト為シ鬪毆殺ト別異ス又其身ヲ防禦
 スル為メニ人ヲ殺ス者ハ先ツ其事情及ヒ時間
 ヲ鞠問明白ニシテ後其罪ヲ免ス一ヲ得若シ始
 メ暴撃セラレレ事訖ル後或ハ逃走スルヲ毆
 撃シ之レヲ殺ス者ハ是レ其恨ヲ報復スル為メニ
 シテ身ヲ防禦スル為メニ非ラス故ニ仍ホ謀殺罪
 ヲ以テ論ス假令ハ甲乙二人相爭鬪シ甲始メ手
 ヲ下シテ乙ヲ毆チ乙逃走スル後甲ノ来ルヲ見

テ毆殺スル者ハ是レ時間己ニ過キ事情惡ムヘ
キ者ナレハ其罪ヲ免ルスヲ得サルノ類ヲ謂
フ

親屬相為防救

凡親子兄弟及ヒ夫婦若クハ家長奴婢等互ニ其
危急ヲ防救シ止ムヲ得スシテ他人ヲ殺ス者
ハ自ラ其身ヲ防禦シテ殺ス者ト同ク人ヲ殺シ
テ免ルスヘキモノトシ其罪ヲ論セス

犯自殺

凡自ラ其生命ヲ殺害スル者ヲ重罪殺犯トシ前
セルフマゲイ
ロニヤスホミヤド

條ノ免スヘキ者ト別異ス其自殺スル者ハ元自
ラ人事ノ艱苦ニ堪ユヘキ精力ナクシテ之ヲ脱避
セン為メニ其生命ヲ殘害スル者ナレハ勇アル
ニ似テ却テ其實ハ怯ナル者ナリ希臘國ノ法律
ニテハ之ヲ罰スルニ其手ヲ斬ス英律ニテハ人
各造物者ヨリ稟ル所ノ生命ニアレハ天命ニ非
ズシテ私ニ之ヲ滅亡スルヲ得ス故ニ若シ
自殺ヲ犯ス者アレハ之ヲ二項ノ犯罪ト為シ一
ハ法門ニテ天命ヲ犯シ及ヒ造物者ノ意ニ戾ル
者ト為シ一ハ俗間ニテ國君ノ其臣下ヲ保護ス

ル所ノ義ニ反スル者ト為シ因テ之レヲ大罪ト為ス

若シ人ヲ教唆シテ自殺ヲ犯サシムル者ハ謀殺ノ前從ナル者ト為シテ論ス

謀殺人誤殺其身

凡人ヲ殺サント謀リ却テ其身ヲ誤殺スル者ハ仍ホ自殺ノ罪ヲ以テ論ス假令ハ人ヲ砲殺セント欲スルニ其銃破裂シテ身自ラ死スル者ノ如キヲ謂フ

若シ人ニ懇求シテ其身ヲ殺サシムル者ハ自殺

ノ罪ヲ以テ論スルコトヲ得ス其許諾ヲ受テ之ヲ行フ者ヲ以テ謀殺ノ罪ニ坐ス

若シ二人共ニ同死ヲ謀リ其一人已ニ死シテ餘ノ一人未タ死セサル者モ亦謀殺ノ罪ニ坐ス

瘋癲人犯自殺

凡瘋癲人ノ自殺ヲ犯ス者ハ固ヨリ情思ヲ知ラサル者ニアレハ自殺ノ罪ヲ以テ論スルコトヲ得スト雖氏其罪ヲ犯ス時瘋癲ニ非ラス全ク常人ト異ナラサル者ハ前後綴ト瘋癲ト雖氏仍ホ常人ノ自殺罪ヲ以テ論ス

犯自殺者處刑

凡自殺ヲ犯ス者ハ之レヲ罰スルニ身後ニ遺スヘキノ產業及ヒ存スヘキノ聲譽ヲ以テ其罪ヲ罰ス乃チ其財産ヲ官府ニ籍没シ及ヒ宗門ノ式禮ヲ以テ之レヲ葬埋スルコトヲ許サス且ツ官吏ノ查檢ヲ經ル後二十四時内ノ夜更九時ヨリ十二時ニ至ル間ニ於テ其餘骸ヲ埋メシム

有心鬪毆殺

凡事卒然ト發リ互ニ鬪毆シ一時ノ忿激ニ堪ヘス因テ人ヲ死ニ致ス者ハ有心鬪毆殺トナシ重

ホルトイマスロク

罪及ヒ鬪毆殺ノ罪ニ坐ス如シ即時ニ非ラス怒氣過クルノ後殺ス者ハ仍ホ謀殺罪ヲ以テ論ス若シ本夫姦夫ヲ姦所ニ殺ス者モ固ヨリ一時ノ忿怒ニ出レハ仍ホ鬪毆殺ヲ以テ論ス其強姦ヲ殺ス者ハ論スルコト勿レ

無心鬪毆殺

凡法ニ於テ為スヘカラサル事ヲ為シ因テ誤テ人ヲ死ニ致ス者ハ無心鬪毆殺ト為シ重罪ニ坐シ鬪毆殺ヲ以テ論ス假令ハ二人金刃ヲ振ヒ遊戯シテ因テ誤テ人ヲ殺ス者ノ如キヲ謂フ

若シ法ニ於テ為スヘキヲ為スト雖モ法ニ依
 テ其事ヲ行ハス若クハ思慮ヲ用ヒスシテ因テ
 誤テ人ヲ死ニ致ス者モ亦無心鬪毆殺トナシ其
 事情ニ依テ過誤鬪毆謀殺罪等ニ坐ス假令ハ工
 匠ノ村里人行稀少ナル所ニ於テ預メ報知シテ
 屋上ヨリ瓦石材木等ヲ投擲シテ下ニ人アリ死
 ニ致ス者ハ乃チ誤殺ト為ス如シ都下人行盈滿
 ノ地ニ於テハ預メ報知スト雖モ如シ死ニ致ス
 者ハ乃チ鬪毆殺ヲ以テ論ス如シ下ニ人アル
 ヲ知リ告知セスシテ瓦石材木等ヲ投擲シ因テ

死ニ致ス者ハ乃チ謀殺ヲ以テ論スルノ類ヲ云

鬪毆殺處刑

凡鬪毆殺ヲ犯ス者ノ處刑ハ判事ノ適當トスル
 所ニ依テ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ
 二年ニ過キサル所ノ入獄ニ處シ情ニ依リ苦役
 ヲ加ヘ若クハ止夕贖罪ニ處シ或ハ贖罪ヲ本刑
 ニ加ヘテ處斷ス

謀殺人

凡先ツ人ヲ殺サント謀ルヲ明白ニシテ後殺ス
 者ヲ謀殺ト為シ重罪ニ坐シ絞ニ處ス若シ先ツ

自ラ人ヲ殺サント謀ラス或ハ自ラ手ヲ下シテ
人ヲ殺サスト雖モ理ニ於テ人ノ必ス死スヘキ
コヲ行ヒ因テ人ヲ死ニ致ス者モ仍ホ謀殺ヲ以テ
論ス假令ハ故ラニ曾テ人ヲ傷害スル所ノ熊犬
等ヲ故チ因テ人ヲ咬殺スル如キヲ謂フ
其幼稚瘋癲癡愚人等ノ犯ス者ハ此律ヲ用ヒス

匪法行事殺人

允卒然ノ忿激ニ出ルト雖モ匪法酷暴ニ事ヲ行
ヒ因テ人ヲ死ニ致ス者ハ預メ殺サント謀ラス
ト雖モ其心已ニ極惡ナレハ仍ホ謀殺ヲ以テ論

ス假令ハ家長奴婢ノ法ニ違ヒ因テ決罰スルニ
鐵杖ヲ把テ毆撃シ或ハ師匠ノ弟子ヲ決罰スル
ニ胸腹ヲ踏踏シ因テ死ニ致ス如キヲ謂フ

庸醫殺人

允醫官藥法ヲ失錯シ因テ人ヲ死ニ致ス者ハ誤
殺ヲ以テ論スト雖モ如シ庸醫未タ其道ニ精通
セス或ハ其心ヲ用ヒスシテ人ヲ治療シ因テ人
ヲ死ニ致ス者ハ鬪毆殺ヲ以テ論ス

保辜限内

允保辜限内ハ其罪犯人ヲ殘傷セシムルヨリ

通計シ一年一日即チ三百六十六日ヲ以テ期限ト為シ如シ限内ニ於テ死ニ至ル者ハ其殺罪ニ坐ス

殺外國人及法外人

凡外國人及ヒ法外人ト雖モ如シ之ヲ殺ス者ハ國人ヲ殺ス者ト罪同シ

馬脚銃砲殺人

凡人ヲ傷害セント欲シ故ヲニ馬脚ヲシテ蹴踢セシメ或ハ羣聚スル地ハ發砲シ因テ人ヲ殺ス者ハ預メ殺サント謀ル人ナキト雖モ害ヲ衆庶

ニ及サントスレハ亦タ同ク謀殺罪ヲ以テ論ス

共謀毆人致死

凡二人以上共ニ同ク他人ヲ毆チ或ハ徒黨ヲ企テント謀リ其一人因テ人ヲ殺ス者ハ謀殺ヲ以テ論シ餘人皆其罪ニ同クス

拒殺捕吏

凡捕吏ノ已レヲ追拏スルヲ聞知シテ之ヲ拒防シ因テ死ニ致ス者ハ謀殺ヲ以テ論ス若シ捕吏ノ之ヲ追捕スルニ法ニ依ラス或ハ行用スヘカヲサル印票ヲ以テ之ヲ追捕セント為

シ因テ拒防シテ死ニ致ス者ハ闘毆殺ヲ以テ論ス

毆殺傍人為和解者

允二人共ニ闘毆スルニ傍人アリ為メニ和解セシトシ説諭スルヲ用ヒス却テ之ヲ毆テ死ニ致ス者ハ謀殺ヲ以テ論ス

誤毒殺人

允人ヲ毒殺セント謀リ藥ヲ設クルニ其人乏ラ取ラス餘人ノ誤テ吞ミ死スル者モ亦謀殺ヲ以テ論ス

罪案成後事發不得作再案

允罪案全ク成ル後ニ其實事顯發スト雖凡更ニ罪犯ヲ推鞠シテ再案ヲ作ルコトヲ得ス假令ハ人ヲ毒殺スル罪案成テ後チ砲殺又殺等ノ甚異ナル所ノ確證顯發スレハ更ニ罪案ヲ改正スルコトヲ得ス因テ罪犯ハ其罪ヲ免ル、コトヲ得ヘシ其少ク異ナル者ハ此例ニアラス

殺父母夫及家長

允父母及ヒ夫若クハ家長ヲ殺ス者ト雖凡並ニ常人ノ殺罪ニ依テ論シ罪別異ナシ

謀殺人罪狀明白者

允人ヲ謀殺セントシ罪狀アタリマシキ已ニ明白ナル者ハ其
已ニ人ヲ傷シ及ヒ未夕傷セサルヲ問ハス並ニ
重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或
ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ
監牢ヲ加フ

謀癡篤疾人

允人ヲ癡疾篤疾ニ為サント謀リ或ハ捕吏ノ掣
獲ヲ拒防セン_トヲ謀リ因テ人ヲ殘傷シ若クハ
發砲スル者モ重罪ニ坐シ罪前條ニ同シ

傷殘人

允癡篤疾若クハ拒防等ヲ謀ル_トナクシテ止タ
人ヲ傷殘スル者ハ兇器ノ有無ニ拘ハラズ輕罪
ニ坐シ五年ノ徒役ニ處シ或ハ二年ニ過キザル
入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

火藥燬傷人

允故ラニ火藥破裂物等ヲ破裂セシメ人ヲ燬傷
シ及ヒ癡篤疾ニ至ラシムル者ハ重罪ニ坐シ謀
殺人罪狀明白者ニ依テ論シ且ツ打背罪ヲ加フ
年十六以下ノ者犯スト雖_モ判事ノ適意ニ依テ

仍ホ本刑ヲ加フ

若シ情ヲ知テ為シニ火藥破裂物等ヲ製造シ或ハ送與シ若クハ熱灰等ヲ以テ人ニ投擲シ因テ人ヲ燬傷シ及ヒ癡篤疾ニ為サント謀ル者ハ人ヲ傷スルト傷セサルトヲ問ハス罪亦同シ

置火藥于人房屋及船隻

凡人ノ房屋及ヒ船隻等ニ火藥ヲ置キ因テ人ヲ殘傷セント欲スル者ハ人ノ傷否及ヒ火藥ノ發否トヲ問ハス十四年ニ及フ徒罪ニ處ス餘上條ニ同シ

凶藥迷死人

凡凶藥ヲ以テ人ヲ迷死セシメ因テ事ヲ行ハント謀ル者ハ其自ラ之ヲ與ヘ及ヒ人ヲシテ與ヘシメ或ハ已ニ與ヘ及ヒ未タ與ヘザルトヲ問ハス重罪ニ坐シ謀殺人罪狀明白者ヲ以テ論シ仍ホ判事ノ適意ニ依テ打背罪ヲ加フ

見破船不援

凡人ノ惡風ニ遇ヒ其船隻已ニ破損シ或ハ暗礁ニ掛リ其艱苦スルヲ見テ故ラニ援濟セス放棄スル者ハ重罪ニ坐シ謀殺人罪狀明白者ニ依

テ論ス

孕婦自墮胎

凡孕婦自ラ藥劑ヲ吞ミ或ハ器械ヲ用ヒ因テ墮胎セントスル者ハ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ノ徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キザル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加ヘテ處斷ス

若シ藥劑ヲ與ヘ或ハ器械ヲ用ヒテ孕婦ノ胎ヲ墮サントシ若クハ孕婦ヲシテ自ラ取用セシムル者ハ其子ノ有無ニ拘ハラズ罪亦同シ

若シ人ノ孕婦ヲ墮胎セシメント謀ル情ヲ知テ

之ニ藥劑器械ヲ付與シ或ハ為メニ媒牙スル者モ亦夕子ノ有無ニ拘ハラズ輕罪ニ坐シ五年ノ徒罪或ハ二年ニ過キサル所ノ入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

畧誘女

凡世襲スヘキ及ヒ財產アル所ノ人ノ長女ヲ利ヲ圖リ畧誘隱閉シテ姦汚セントシ若クハ其妻ニ為サント謀リ或ハ他人ニ婚姻セシメ姦汚セシメント謀リ或ハ二十一歳以下ノ女ヲ誑誘隱閉シ因テ妻若クハ姦汚セント謀リ或ハ人ノ女

ヲ強畧スル者ハ並ニ重罪ニ坐シ五年ヨリ十四年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ年十六以下ノ幼女ヲ其父母若クハ後見等ノ意ニ違ヒ畧誘シ若クハ人ヲシテ畧誘セシメル者ハ縱ヒ姦汚セントシ或ハ妻ト為サントスルノ意ナシト雖モ輕罪ニ坐シ二年ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

強姦婦女

允人ノ婦女ヲ強姦スル者ハ重罪ニ坐シ五年ヨ

リ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル所ノ入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ止々事實ヲ明白ニスルヲ須要ス

若シ年十四以下ノ者ハ法ニ於テ強姦ヲ犯スト能ハサルト為ス如シ犯スト雖モ罪ニ坐セス若シ娼妓ト雖モ之ヲ強姦スル者ハ仍ホ此律ニ依ル

姦幼女

允十歳以下ノ幼女ヲ姦スル者ハ和スルト雖モ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或

二年ニ及フ入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ
若シ十歳以上二十歳以下ノ少女ヲ姦スル者及
ト十二歳以下ノ幼女ヲ姦セントシ未タ成ラサ
ル者若クハ二十一歳以下ノ少女ヲ誑騙シテ他
人ニ媒姦スル者ハ並ニ和スルト雖凡輕罪ニ坐
シ五年ノ徒罪或ハ二年ニ及フ入獄ニ處シ若ク
ハ苦役ヲ加フ

雞姦及獸姦

允雞姦及ヒ獸姦ヲ犯ス者ハ並ニ重罪ニ坐シ十
年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處斷ス雞姦セラ
ル者モ罪亦同シ
若シ謀テ未タ成ラサル者ハ輕罪ニ坐シ五年ヨ
リ十年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル
入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

畧誘幼孩

允年十四歳以下ノ幼孩ヲ畧取誘引シ若クハ隱
閉シ因テ巳ノ子女ト為サント謀リ或ハ其衣服
等ヲ剥奪セント欲スル者ハ並ニ重罪ニ坐シ五
年ヨリ七年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル
入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ畧誘ノ情ヲ知テ受寄隱匿スル者モ罪亦同シ

若シ年十六以下ノ者之ヲ犯セハ判事ノ適意ニ依テ打背罪ヲ加フ

棄去赤子

允故ヲニ二歳以下ノ赤子ヲ棄去スル者ハ輕罪ニ坐シ五年ノ徒罪或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

向鐵路投木石

允故ヲニ蒸氣車ノ鐵路ニ向テ木石等ヲ投テ若クハ横へ或ハ鐵路枕木等ヲ轉移シ若クハ表標

報燈等ヲ轉動シ或ハ蒸氣車内若クハ器械ニ木石等ヲ投擲シ因テ旅人ヲ困危セシメント欲スル者ハ並ニ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ故ヲニ應干ノ事務ヲ怠慢シ因テ旅人ヲ困危セシムル者ハ自ラ之ヲ為シ及ヒ人ヲシテ為サシメ若クハ之ヲ助力スルヲ問ハス並ニ輕罪ニ坐シ二年ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加

英國刑律摘要 卷之二 十七

設置機發弓銃

允人ヲ殺傷スルニ足ル機發セキダクスル弓銃等ヲ自己ノ田園ニ設置シ因テ人ノ濫入スルヲ傷害セント欲スル者ハ輕罪ニ坐シ五年ノ徒罪ニ處シ或ハ二年ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ若シ人ヲシテ設置セシムル者ト雖氏罪亦同其夜家内ニ設置シ因テ盜賊ノ防禦ヲ為サント欲スル者ハ此限ニアラス

故毆人

允故ヲニ卒然ト人ヲ毆ウチ打スル者ハ折傷セスト雖氏輕罪ニ坐シ一年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ損害スル者ハ五年ノ徒罪或ハ二年ニ至ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ或ハ訴訟裁判所ニ於テ償金ヲ付與セシム

若シ裁判官ヲ廳内ニ於テ襲毆シ或ハ破船ニ遇フ所ノ器物等海濱ニ漂流シ到リ吏役ノ之ヲ守衛スルヲ毆擊スル者ハ並ニ輕罪ニ坐シ判事ノ適意ニ依テ七年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ

至ル入獄ニ處斷ス

若シ人ヲ侵撃シ因テ重罪ニ該ル罪ヲ犯サント欲シ或ハ捕吏ノ已レヲ捕獲セントスルヲ抵防セン為メニ之ヲ侵撃シ或ハ諸工商人等ノ衆徒ヲ糾連シテ雇工賃錢若クハ物價ヲ上直ニセンヲ希圖シ餘人ノ同意セサル者ヲ侵撃スル者ハ並ニ輕罪ニ坐シ二年ノ入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ猥褻ノ所行ヲ以テ卒然ト婦人ヲ侵ス者モ罪亦同シ

若シ人ヲ毆撃スルト雖凡其情狀尤モ輕キ者ハ即日治安裁判所ニ於テ五封度ニ至ル贖金ヲ出サシメ或ハ二月ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

放火故焼人房屋

凡人ノ居止スル房屋及ヒ寺院厩庫店舎船隻石炭礦等ニ倣火シ已ニ燬焼スル者ハ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ如シ年十六以下ノ者犯セハ更ニ打背罪ヲ加フ

若シ未夕焰焼ニ至ラサル者ハ五年ヨリ十四年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ入獄ニ處ス其法上ニ同シ

若シ園場ニ於テ積聚スル所ノ草穀柴薪等ニ放火スル者モ罪亦同シ

若シ田野ニ茂生スル所ノ蔬穀樹草等ニ放火スル者モ罪亦同シ如シ未夕焰焼ニ至ラサル者ハ七年ニ止ル徒罪ニ處斷ス

夜破入人房屋

允強盜謀殺強姦等ヲ犯サント欲シ夜暮九字ヨリ曉六字

造ノ間人ノ居住スル房屋墻垣門窓等ヲ破壞シテ侵入スル者ハ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ノ徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ

若シ已ニ内ニ在テ重罪ヲ犯シ後破壞シテ脱出スル者及ヒ一時家内ニ人ナク或ハ止夕窓戸ヲ排擠シ鎖鑰ヲ解脱シ若クハ闕ヲ越ヘ或ハ止夕手ヲ入ル、者ト雖凡皆同シ

其幕居茅廠等ノ暫時ノ為メニ建置シテ永久ノ為メニアラサル者或ハ白晝ニ人ノ居住スル家

ト雖氏夜ハ之レニ寢居セサル者ハ此限ニアラ
ス

夜扣人門戶犯盜

允夜人ノ門戶ヲ扣キ開クニ及ンテ突入シ或ハ
家ヲ借居セント詐稱シ内ニ在テ強盜ヲ犯ス者
ハ自ラ家屋ヲ破壊セスト雖モ仍ホ夜破入人房
屋律ニ依テ論ス

若シ奴婢重罪ヲ犯サント欲シテ其家長ノ室内
ニ侵入シ或ハ重罪ヲ犯サント欲シテ其同居同
族ノ者ノ室内ニ入ル者ハ並ニ戶外ヨリ破壊シ

テ入ルニアラスト雖モ亦夜破入人房屋罪ト同
シ

若シ奴婢他人ヲ誘引シテ家長ノ家ニ侵入セシ
ムル者モ亦各同シ

聚衆守防其家

允衆十二人以下ヲ聚メ其房屋ヲ守防セン為メ
ニスル者ハ其聚ルヲ免ルス其餘ハ免サス

夜持兇器塗面色在人家屋内

允夜人ノ房屋ヲ破壊スヘキ凶器ヲ持チ或ハ面
色ヲ塗リ容體ヲ變シ人ノ家屋内ニ在ル者ハ輕

罪ニ坐シ五年ノ徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ

若シ再犯スル者或ハ前重罪ヲ犯シ後此罪ヲ犯ス者並ニ十年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ入獄ニ處

斷ス其法上ニ同シ

破入官社寺院等

凡官社寺院等ヲ破壊シテ侵入シ因テ内ニ在テ重罪ヲ犯ス者ハ神位カクヲ輕侮スル罪ニ坐シ夜破入人房屋律ト罪同シ

若シ未タ内ニ在テ重罪ヲ犯サル者ハ二年ニ

過キサル入獄ニ處シ或ハ七年ニ止ル徒罪ニ處

斷ス

白晝破入人房屋倉庫店舎等

凡白晝人ノ房屋倉庫店舎等ヲ破壊シテ侵入シ

因テ重罪ヲ犯シ或ハ已ニ内ニ在テ重罪ヲ犯シ

後破壊シテ脱出スル者ヲ並ニ五年ヨリ十四年

ニ止ル徒罪ニ處シ或ハ入獄ニ處斷ス

若シ未タ内ニ在テ重罪ヲ犯サル者ハ前條ノ

未タ犯サル者ト罪亦同シ

借居人盜假借品器

凡人ノ家屋ヲ借居シ其借用スル所ノ諸品器ヲ
盗取スル者ハ重罪ニ坐シ贓ニ計ハ五封度以上
ハ二年ニ止ル入獄ニ處シ或ハ七年ニ止ル徒罪
ニ處ス五封度以下ハ止夕二年ニ止ル入獄ニ處
斷ス

詐取寄託財物

凡人ノ財寶品物証書等ノ寄託ヲ受ケ因テ自ラ
詐取シ或ハ自己ノ用ト為シ若クハ他人ノ用ト
為ス者ハ縱ヒ之ヲ減破セスト雖モ^ラ竊盜ノ罪ニ
坐ス

竊盜未全持去

凡竊盜未夕全ク持去セスト雖止夕其處ヲ動
移スル者ハ全ク盗取スルト罪同シ假令ハ人ノ
馬牛ヲ牧野ヨリ拽出シ或ハ旅人ノ客舎ニ属ス
ル所ノ器物ヲ其室内ヨリ持出シ或ハ盜ノ厨内
ヨリ磁器ヲ取出シ之ヲ床上ニ置クカ如キ並ニ
未夕全ク持去セスト雖モ仍ホ竊盜罪ニ坐スル
ヲ云フ

奴婢那移家長穀物

凡奴婢家長ノ命令ニ違反シ私ニ其穀物ヲ取出

シ縦ヒ家長ノ馬牛羊犬等ニ投與スト雖モ仍ホ
邏卒裁判所ニ於テ即日贖罪ニ處斷ス

竊盜處刑

允竊盜ヲ犯ス者ハ一般ノ規則ニ重罪ニ坐シ五
年ノ徒罪或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若ク
ハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ

若シ年十六以下ノ者犯セハ更ニ打背罪ヲ加フ
若シ三犯スル者前二犯ハ贖罪ニ減リ或ハ再犯
スル者前輕罪ノ惡キ者ヲ犯セハ並ニ七年ニ及
フ徒罪ニ處ス如シ前重罪ヲ犯ス者ハ十年ニ及

フ徒罪ニ處斷ス

盜馬牛羊豚

允馬牛羊豚ヲ盜取スル者ハ五年ヨリ十四年ニ
至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ
若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ

盜製造場器物

允製造場ヨリ絹麻綿毛等ノ糸及ヒ器械等ヲ盜
取スル者ハ贓ヲ計ヘ十シリンク以上ハ十四年
ニ及フ徒罪ニ處斷ス

盜船内物品

允船舶ニ諸物品ヲ積載運出シ因テ盜取スル者ハ賍ヲ計ヘ五封度以上ハ五年ヨリ十四年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ

強盜

允財物若クハ証書等ヲ強盜スル者ハ重罪ニ坐シ五年ヨリ十四年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ未タ盜取セサル者ハ五年ノ徒罪或ハ入獄ニ處斷ス其法上ニ同シ

若シ兇器ヲ持チ或ハ二人ヲ連糾シ或ハ因テ人ヲ毆傷スル者ハ並ニ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ入獄ニ處シ打背罪ヲ加フ

恐誣人強奪財物証書

允文書ヲ以テ人ヲ恐喝シ其財物証書等ヲ強奪セントスル者五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ入獄打背罪ニ處斷ス財物証書等ヲ盜ント欲シ強テ乞求スル者ハ五年ノ徒罪或ハ入獄ニ處斷ス

若シ文書ヲ送り人ヲ死罪或ハ七年以上ノ徒罪

ニ誣陷シ財物ヲ強奪セントスル者ハ五年ヨリ
終身ノ徒罪ニ處シ或ハ入獄ニ處シ若クハ苦役
監牢打背罪ヲ加フ

若シ人ヲ罪ニ誣ヒ恐赫シテ證書ヲ破壞變改收
受若クハ姓名押印ヲ為サシメ或ハ他人ノ名印
ヲ詐為セシムル者モ罪亦同シ止タ打背罪ヲ除
免ス

奴婢盜家長財物

允奴婢家長ノ財物ヲ盜ム者ハ重罪ニ坐シ五年
ヨリ十四年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キ

サル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ如
シ年十六以下ノ男子犯ス者ハ判事ノ適意ニ依
テ打背罪ヲ加フ
若シ監守及ヒ捕吏等官ニ屬スル所ノ財物ヲ盜
ム者モ罪亦同シ

那移出納家長財物

允奴僕雇人家長ノ財物ヲエミツケル那移出納シテ已レニ入
ル、者ハ罪家長ノ財物ヲ盜ムニ同シ監守及ヒ
捕吏那移出納シテ已レニ入ル、者ハ監守及ヒ捕
吏官物ヲ盜ムニ同シ

若シ英國ノ銀行ノ算吏及ヒ奴僕雇人等文案ヲ
擅造シ財物ヲ那移シテ已ニ入ル、者ハ終身ニ
至ル徒罪ニ處斷ス

私用人囑託物

凡人ノ為メニ送與スヘク若クハ貯藏スヘク或
ハ為メニ品物ヲ收買スヘキ金銀證書等ノ囑託
ヲ受ケ却テ私ニ自己ノ用若クハ他人ノ用ト為
ス者ハ輕罪ニ坐シ五年ヨリ七年ニ止ル徒罪ニ
處シ或ハ二年ニ過サル入獄ニ處シ若クハ苦役
及ヒ監牢ヲ加フ

郵便吏役披封書

凡郵便吏役ノ故ラニ人ノ封書ヲ披開シ或ハ停
滯シ若クハ人ヲシテ披開停滯セシムル者ハ並
ニ輕罪ニ坐シ徒罪或ハ入獄ニ處ス若クハ判事
ノ適意ニ依テ徒罪及ヒ贖罪ヲ併用ス
若シ封書ヲ盜取隱匿破拆スル者ハ重罪ニ坐シ
五年ヨリ七年ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止
ル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ如シ
財物證書等ニ係ル封書ハ終身ニ至ル徒罪ニ處
斷ス

若シ摺搨スル文書或ハ新聞紙等ノ全ク緘封ヒ
ス若クハ兩隅ヲ顯露スル者ヲ盜取隱匿破拆停
滯等スル者ハ並ニ輕罪ニ坐シ贖罪或ハ入獄或
ハ判事ノ適意ニ依テ贖罪及ヒ入獄ヲ併用ス

盜人封書

允故ラニ財物若クハ証書等ニ係ル他人ノ封書
ヲ盜之或ハ郵便吏役ヲ停留シテ封書ヲ盜ント
スル者ハ重罪ニ坐シ罪前條ニ同シ
若シ故ラニ他人ハ封書ヲ隱匿シテ吏役ニ付與
セサル者ハ輕罪ニ坐シ贖罪及ヒ入獄ニ處斷ス

受盜贓

允重罪ニ該ル盜贓ナルヲ知テ受ル者ハ重罪
ノ後從ト為シ首盜未夕捕獲セスト雖凡五年ヨ
リ十四年ニ止ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ過キサ
ル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ如シ
年十六以下ノ者犯セハ判事ノ適意ニ依テ且ツ
打背罪ヲ加フ
若シ贓輕罪ニ該ル者ハ其贓ヲ受ル者モ亦輕罪
ニ坐シ七年ニ止ル徒罪ニ處シ或ハ入獄ニ處斷
ス其法上ニ同シ

損害製造場物器

允製造場ニ於テ故ラニ絹麻綿毛若クハ諸器械等ヲ損害スル者ハ重罪ニ坐シ終身ニ至ル徒罪ニ處シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加フ如シ年十六以下ノ者犯セハ更ラニ打背罪ヲ加フ

發火藥損害人

允火藥破裂物等ヲ用テ人ノ居住スル房屋ニ於テ發裂セシノ因テ人ヲ損害シ其生命ヲ危險ナラシムル者ハ重罪ニ坐シ終身ノ徒罪ニ處ス如シ止タ房屋ヲ損害セント欲シ火藥ヲ置キ未タ發セサル者ハ十四年ニ及フ徒罪ニ處斷ス

損害假借物

允人ノ房屋ヲ借居スル者ノ其借ル所ノ器具ヲ故ラニ損害スル者ハ輕罪ニ坐ス

損害樹木

允人ノ樹木ヲ故ラニ損害スル者ハ賍ヲ計ヘ一封度以上ハ重罪ニ坐シ五年ノ徒罪ニ處シ一シリング以下ハ治安裁判所ニ於テ即日處斷ス若シ園裏ノ菜蔬及ヒ籬垣等ヲ故ラニ損害スル

者ハ治安裁判所ニ於テ推問處斷ス

損害礦山及器械

允礦山及ヒ其器械等ヲ故ラニ損害スル者ハ重罪ニ坐シ七年ニ至ル徒罪ニ處斷ス

若シ電信機博覽物等ヲ故ラニ損害スル者ハ輕罪ニ坐シ入獄ニ處斷ス

損害馬牛羊豚

允馬牛羊豚ヲ故ラニ損害スル者ハ重罪ニ坐シ十四年ニ至ル徒罪ニ處斷ス

損害堤塘橋梁船隻

允堤塘橋梁船隻等ヲ故ラニ損害スル者ハ重罪ニ坐シ終身ニ至ル徒罪ニ處斷ス

損害官私物類

允前條言フ所ノ外其餘官私ノ物類ヲ故ラニ損害スル者ハ輕罪ニ坐シ贓ヲ計ヘ五封度以上ハ二年ニ至ル入獄ニ處シ或ハ苦役ヲ加フ如シ五封度以下ハ治安裁判所ニ於テ推問シ二月ニ止ル入獄ニ處シ若クハ苦役ヲ加フ或ハ五封度ニ過キサル罰金ヲ出サシメ官ニ係ル物ハ官ニ入レ私ニ屬スル物ハ其主ニ給與ス若シ夜更ニ於

故ラニ之ヲ犯ス者ハ五年ニ至ル徒罪ニ處斷ス
其故造惡意アルニアラス知ラスシテ法ヲ侵シ
應禁ノ池魚ヲ釣リ禽獸ヲ獵獲スル等ハ此限ニ
アラス

英國刑律摘要卷二終

